



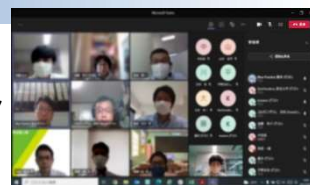
**T-Bizは大学発ベンチャーや大学と連携する企業の皆様をサポートする
中小機構が運営するインキュベーション(起業家育成)施設です**

長らくコロナウィルス感染症の影響で市場経済が大きく変動している中、「VUCA(ブーカ)」の時代の乗り越え方が今まで以上に必要とされている事を強く感じています。「転機」への適応性の中では、PDCAループで事業を考えるという観点から、OODA(ウーダ)ループにより、臨機応変(Agile)な視点で思考する事が必要とT-Bizでは想い、更に柔軟性が有る伴走支援を心掛けて参ります。

東北大学連携ビジネスインキュベータ 【T-Biz】 チーフインキュベーションマネージャー(CIM) 工藤 裕之

T-Biz主催セミナー開催報告……日本政策金融公庫 制度説明会

■9月7日、T-Biz主催にて日本政策金融公庫様を講師としてお招きした『ベンチャー企業様向け 制度説明会』を開催、当初はT-Biz会議室でのリアル開催の計画でしたが、緊急事態宣言発令を受けて残念ながらオンライン開催といたしました。12名の皆様に参加いただきましたが、T-Biz入居企業の皆様のほか、大学の研究者の方々にも参加いただき、将来のスタートアップに向けた貴重な情報を入手いただけたと感じています。また、セミナー終了後にご希望の方を対象にして個別相談会をオンライン形式で開催しました。今後も、日本政策金融公庫様への疑問・質問・相談等がありましたらIM室にて取り次ぎいたしますのでお気軽にお問い合わせください。



Web形式で開催しました

■今後のセミナーは、すでにご案内の通りNICHE様・仙台雇用労働相談センター様との共催で下記セミナーをオンライン開催いたします。

10月8日(金) 労務管理セミナー『ベンチャー企業の成長を見据えた労務管理とは』

11月5日(金) メンタルヘルス・ハラスメント対策セミナー『<管理職向け> 今から始める！職場のメンタルヘルス・パワハラ対策セミナー』

詳しくはT-BizホームページやT-Biz館内の掲示物をご覧ください。T-Biz入居企業以外の方も参加いただけます。

その他、『中小企業のための知財情報を活用したビジネス戦略～IPランドスケープ(分析)入門～』などスタートアップ企業に必須の知見を確認する知財セミナーと個別相談会を企画中です。近日中にご案内いたしますのでぜひご参加ください。

主要メディア掲載ご紹介

- 2021年 8月 3日付 日刊工業新聞
『車いす用トレッドミル開発 パラ競技者の強化後押し』
株式会社大武・ルート工業 <https://tm.ohtake-root.co.jp>
- 2021年 8月26日付 化学工業日報
『日本材料技研、半導体分野に参入
検査装置開発のP S T Sに出資 高機能材ともシナジー』
株式会社パンソリューションテクノロジーズ <http://psts.jp>
- 2021年 9月 2日付 日本経済新聞
『イスラエルからコソ学ベ 駐日大使館など支援プログラム』
2021年 9月14日付 日経産業新聞
『高精度のガス検知センサー 半導体向けなど』
その他、日刊工業新聞・河北新報への掲載がありました
ボールウェーブ株式会社 <http://ballwave.jp>

今後の展示会出展・メディア掲載ご案内

- 10/13～15パシフィコ横浜でリアル開催予定の『BioJapan 2021』にT-Bizからは、T B A・ファイトケミカルプロダクツ・Blue Practiceの3社が出展します。
- ファイトケミカルプロダクツは11/17～19東京ビックサイトで開催される『INCHEM TOKYO2021』にも出展します。
- 中小機構主催の『新価値創造展2021』は12/8～10東京ビックサイトでリアル開催、12/1～24オンライン開催となり、T-Bizからは、東北マイクロテック・ボールウェーブの2社が出展します。
- 日刊工業新聞全国版にて、隔週連載によるT-Biz入居企業紹介が11月より開始の予定です。ご期待ください。

TUPが『市村清新技術財団 新技術開発助成』に採択されました

高精度熱CVD法を用いた経済化機能性成膜材料の実用化開発を行っている株式会社TUPは、「貴金属の大幅低減を実現するコーティング坩堝の試作開発」のテーマにてこの8月、『市村清新技術財団 第107回新技術開発助成』に採択されました。酸化物質単結晶製造時に使用する希少材料イリジウム製坩堝を東北大学後藤教授の協力の下で、熱CVD技術を用いてより安価な高融点金属坩堝の表面にイリジウム等の傾斜膜を成膜することで遙かに安価でかつ高強度の坩堝を作製する技術です。「今後の酸化物質単結晶材料の低コスト化と安定供給に繋がり、産業全体の競争力強化への大きな貢献が期待される」という理由で採択されました。本件は8月17日の日刊工業新聞にも掲載されました。

また、同社は「令和3年度宮城県新エネルギー等環境関連設備開発支援事業費補助金」に採択されています。

市村清新技術財団新技術開発助成紹介 https://www.sgkz.or.jp/project/newtech/107/document_03.html

株式会社TUP <http://tup-inc.com/index.html>



T-Biz入居企業ご紹介

Blue Practice株式会社



代表取締役社長
鈴木 宏治 氏

革新的医療用生体モデルの開発で
最高の医療品質を目指し
先進医療の実践技術 (“Practice”)
を支える

Blue Practiceが実現した革新的生体モデルとは？

先進的医療機器と医療デバイスを駆使した先進医療の実践技術 (“Practice”)は、人の健康寿命を支えるうえで重要度が加速度的に増していくことでしょう。そして、テクノロジーの進化に伴い治療技術は日進月歩の発展を続けていきます。しかし、治療対象は生命を宿すヒトの体であることには変わりはありません。治療に臨む際にそれが熟練した専門医の手技であれ、先進の手術ロボットのスマートアームであれ、人体にかかる影響を限りなく考慮した技術が必要となることに変わりはありません。その技術にはこれまで以上の性能と品質が求められるようになる、私たちはそう考えています。

Blue Practiceでは、PVA-H (ポリビニールアルコール ハイドロゲル)を素材とする東北大学との共同研究に基づき、ヒトの血管の形状、動的粘弾性(硬さ/柔らかさ)、摩擦(滑り感)を極めて正確に再現した血管モデルの開発に成功しました。その質感の再現性は複数の専門医による医療デバイスを用いた試験によって実証されました。



この本物の血管そっくりな感触をもつモデルにより、これまで形状再現に留まっていた既存の生体モデルでは不可能であった治療感覚を伴った医療トレーニングの実現や、先進の医療デバイスの性能評価の精度を格段に向上させることが出来ます。

T-Biz入居のメリットは？

東北大学との共同研究をする上での距離的な近さと同時に、インキュベーションマネージャーの皆様からの助成金公募情報やスタートアップ経営に関する様々な支援情報をタイムリーにお知らせ頂けるため、当社の様なアーリーフェーズのスタートアップにとっては実務的にも精神的にも安心して事業に専念できてとても助かっております。

今後の目標と展望は？

Blue Practiceの血管モデルには、医療デバイス进行操作する際の力加減 (“Touch Feeling”)を可視化するためのセンサーシステムがビルトインされます。血管モデルには目的や精度の異なるマイクロセンサが組み込み可能で、それらのセンサにより血管内部に加わる圧力や血管壁にかかる歪みを数値的に可視化することが出来るようになります。Blue Practiceではこのセンサーシステムを活かし、医療デバイスの性能評価の効率化や手術シミュレーションのためのご支援を行ってまいります。また、医療トレーニングにおいても専門医と若手医師の “Touch Feeling” の違いを機会学習させてコーチングするなど、これまで臨床研修に頼っていた医療トレーニングの効率を飛躍的に向上させることが出来ます。

Blue Practiceはこの医師の感覚ともいえる “Touch Feeling” データベースのプラットフォームを提供するリーディングカンパニーへと成長していきたいと考えています。



この秋にはドラマにも出演

「仙台市ヘルステック推進事業」に参加しています。また10月はT-Bizの推薦をいただき「BioJapan2021」に出展いたします。その他多くの医療学会イベントで当社製品のPRを実施していきます。

そして、この秋フジテレビ系列で毎週月曜よる9時に放送開始のTVドラマ『ラジエーションハウスⅡ』の中で使用される血管モデルとして当社の製品を提供いたしました。撮影現場にも当社が立ち会いました。この機会に皆さんにもぜひBlue Practiceの先進の血管モデルをドラマの中でご覧いただければと願っております。

《 企業プロフィール 》



2019年2月、革新的研究開発推進プログラムImPACTに採択され世界に先駆けてその成果が発表されたバイオニックヒューマノイドの技術開発を基に創業、ハイドロゲル化させた合成樹脂により人の器官や血管の物理特性を限りなく実物に近づけ再現する技術を用い、形状だけでなく感触までも再現した次世代の医療用生体モデルを生み出している。独自のセンサシステムと組み合わせることで、医療現場においてはリアルティのある治療シミュレーション、また医療機器開発においては効率的な性能試験のプラットフォームを提供している。その画期的な独創的な技術が高く評価され、2020年11月にJ-Startup Tohoku企業に選定。

Blue Practice株式会社

〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40
東北大学連携ビジネスインキュベータ 406号室
<https://bluepractice.co.jp>



仙台市 産業振興課 様 による事業支援と活動方針ご紹介

■ 前回の宮城県様に続いて、今回は「仙台市 産業振興課 様」より現在の支援事業ご案内と、スタートアップ・エコシステム拠点都市(推進拠点都市)選定を受けての今後の活動計画などについてご紹介いただきます。

《 仙台市様 寄稿文 》

仙台市では、令和3年度を初年度とする「仙台市基本計画」※1を策定し、「挑戦を続ける、新たな社の都へ～“The Greenest City” SENDAI～」をまちづくりの理念として掲げ、向こう10年における目指す都市の姿と、その実現に向けた施策の方向性を示しています。重点的に取り組むチャレンジプロジェクトの一つとして「TOHOKU未来プロジェクト」を掲げております。本プロジェクトのもと、事業の急成長を目指すスタートアップ企業や地元中小企業等、様々な事業者が挑戦しやすい環境・風土をつくり、社会的・経済的なインパクトをもたらすイノベーション創出を目指しています。



仙台市は令和2年7月に内閣府のスタートアップ・エコシステム拠点都市に選定され、「仙台・東北から世界を変えるスタートアップが生まれ、世界中からソーシャルイノベーターが集う都市」を目指し、産学官金労官の連携により取り組みを進めております。※2,3,4 また、今年8月には、拠点都市選定から1年を迎えての拠点都市報告会が開催され、内閣府から、「各会員それぞれの強みを活かしながら協議会として連携した取り組みを進めている」という言葉をいただきました。

- ※1 仙台市総合計画より『仙台市基本計画』
<http://www.city.sendai.jp/machizukuri-kakuka/shise/zaise/kekaku/sogo/index.html>
- ※2 内閣府HP『スタートアップ・エコシステム拠点都市の形成』
<https://www8.cao.go.jp/cstp/openinnovation/ecosystem/index.html>
- ※3 『スタートアップ・エコシステム拠点形成計画(仙台市)』
https://www8.cao.go.jp/cstp/openinnovation/ecosystem/keikaku/sendai_k_1.pdf
- ※4 『仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会HP』
<https://sendai-startup-ecosystem.jp/>
- ※5 『仙台市ヘルステック推進事業』
<https://www.sendai-healthtech.com/>

T-Biz入居企業の皆様にも仙台市の各種プロジェクト推進に参加いただいております。この7月、シグマアイ様に新型コロナウイルス感染症に関する市民からの相談窓口である仙台市コールセンターに業務支援システム「whis+」をご提供いただきました。相談を受け付けるオペレーターの負担軽減を図りながら、最適な医療機関を速やかに案内することができるようになりました。また、「仙台市ヘルステック推進事業」※5においては、ハートビートサイエンスラボ様、Blue Practice様、ライフラボトリ様にご参画いただき、医療現場やヘルスケア領域の課題解決を目指してヘルステック産業の振興と人材育成に取り組んでいただいております。

2023年には、東北大学青葉山新キャンパス内に次世代放射光施設が稼働し、多くの事業者におけるイノベーションや高付加価値の創出が期待されています。また、仙台市も参画し応募しているスーパーシティの取り組みが実現すれば、実証フィールドとしての可能性が広がるため、T-Biz入居企業の皆様にも積極的にご活用いただきたいと思っております。

T-Biz入居企業の皆様は、大変優れた研究シーズを基にした事業展開を図られており、仙台市が目指している社会的・経済的なインパクトをもたらすイノベーション創出の方向性とも合致しているところであります。引き続き支援事業を通して、皆様の事業推進をご支援させていただきます。



仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会HP

仙台市様の上記リンク先※1より『仙台市基本計画』や『市長メッセージ』がご覧になれます。仙台市ホームページには、創業支援や助成金・補助金情報など詳しい支援内容が紹介されていますのでぜひご確認ください。

■ 内閣府のスタートアップ・エコシステム推進拠点進捗に関する報告・意見交換会(仙台)が8月18日にWeb会議形式で開催されました。内閣府・文部科学省・経済産業省及び、仙台市・東北大学をはじめとする仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会メンバー、中小機構から杉村本部長・T-Biz工藤CIMが参加しました。杉村本部長から中小機構の概要、スタートアップ企業への支援策、「J-Startup」「J-Startup TOHOKU」に選定されているT-Biz入居企業8社について紹介しました。なお、J-Startup企業であるボールウェーブ社の赤尾社長が本Web会議で同社の事業状況を説明され、内閣府様との質疑応答を行い、激励の言葉をいただいております。

T-Biz入居企業情報

- T B A とファイトケミカルプロダクツが「バイオスタートアップ総覧 2021-2022」に掲載されました。
<https://bio.nikkeibp.co.jp/atcl/info/books/210630/>
- ファイトケミカルプロダクツがトコトリエノールなどの機能性栄養を富士フィルム和光純薬からフルラインナップ販売を開始。現在は海外サイトにも掲載され、海外での購入も可能に。また、健康美容サプリメント「おコメのきもち」が宮城県運営のみやぎフードセレクションに掲載。
<https://phytochem-products.co.jp/news/>
- ボールウェーブ、令和3年度「Fukushima Tech Create」支援先に採択。福島イノベ構想 <https://www.fipo.or.jp/news/15673>

- ボールウェーブ、JAXA宇宙探査イノベーションハブの研究開発成果について発表。その研究成果で可搬型ガスクロマトグラフのプロトタイプを開発。
<http://ballwave.jp/images/20210831.pdf>
- スーパーナノデザインと東北マイクロテックは「令和3年度みやぎ中小企業チャレンジ応援基金事業(技術志向型)」に採択。
https://www.joho-miyagi.or.jp/shinouen_saitakugyousya
- 東北マイクロテック、「宮城県令和3年度 新規参入・新産業創出等支援事業(地域イノベーション創出型)」に採択。事業名「CdTe化合物半導体積層X線フォトンカウンティング用積層チップの作成」です。

加速キッチン 夏休みに中高生対象のオンラインイベントを開催

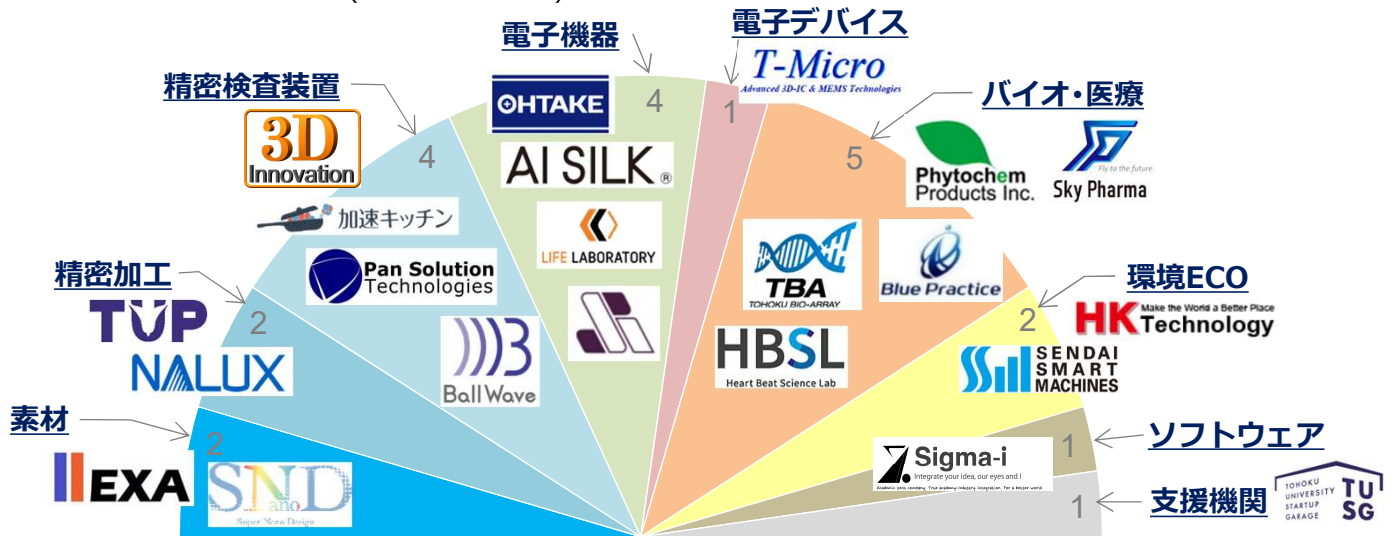
加速キッチンは、この夏休みにオンラインにて中高生を対象にした『宇宙線観測体験会』と『自分の声を可視化して分析しよう』のふたつのイベントを開催しました。『宇宙線観測体験会』では海外からの参加もあったそうです。同社はSTEAM教育(Science:科学、Technology:技術、Engineering:工学、Arts:芸術、Mathematics:数学)により「ひとりひとりのワクワクをよびおこす」活動を行っています。

加速キッチン合同会社 <https://accel-kitchen.com/> , https://twitter.com/accel_kitchen



T-Biz 東北大学連携ビジネスインキュベータ (T-Biz) の入居企業の業種は

T-Bizには、素材開発からデバイス・システム開発まで多彩な事業分野で『東北発、世界初をめざす』起業家の皆様が入居しており、イノベティブな活動をしています。(2021年9月末現在)



※上記入居企業の8割は東北大学を中心とした大学発スタートアップ企業で、2割がカーブアウト・第2創業企業です。

T-Biz 施設ご紹介

充実の設備と恵まれた環境をぜひ一度ご覧ください



ウェットラボタイプ※
 研究開発や製品の試作・製造拠点、
 オフィスとしてご利用いただくタイプの居室

※ P2レベルまで可能(動物実験は不可だが、遺伝子組換え用微生物・魚類の評価飼育までは可能、要相談)



主にオフィスとして
 ご利用いただくタイプの居室



大人数の会議・セミナー等に使用できる
 プロジェクター・音響設備完備の共用会議室
 (1室・予約制)

T-Biz ただいま入居者募集中です (2021年9月末現在)

ウェットラボ タイプ1	102号室(87.93㎡)	308号室(61.65㎡)
ウェットラボ タイプ2	205号室(45.57㎡)	305号室(45.57㎡)
オフィス	405号室(22.28㎡)	502号室(20.07㎡)

居室面積や詳しい居室仕様などは下記ホームページをご覧ください、
 T-Bizに直接お問い合わせください。

T-Biz アクセスとお問い合わせ先



JR仙台駅からお越しの際は
 地下鉄東西線「仙台」駅から
 「八木山動物公園」駅行きに乗車(約9分)。
 「青葉山」駅下車、南1出口から徒歩約2分。
 タクシーをご利用の場合(約15分)は
 「東北大学未来科学技術共同研究センター」
 と指示してください。その東隣です。



T-Biz 東北大学連携ビジネスインキュベータ

☎022-726-5866

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40

<https://www.smj.go.jp/incubation/t-biz/>



●中小機構は、新たな一歩を踏み出そうとしている経営者をハードとソフトの両面からサポートします。

https://www.smj.go.jp/regional_hq/tohoku/index.html

インキュベーション 常駐する専門家が 早期事業化を 一貫してサポート	ファンド事業 資金調達や事業提携 に向けた伴走型の アクセラレーター支援	ビジネス マッチング 展示会・商談会や 「J-GoodTech」サイトで 販路開拓をサポート	ハンズオン支援 ～専門家派遣～ 個別の経営課題に応じて 豊富な経験と実績を持つ 専門家チームを派遣	起業相談 支援情報 AIを活用した経営相談 J-Net21による起業・創業 に役立つ情報サポート	創業支援拠点 TIP*S・BusiNest 交流や学びの場を提供 実践の第一歩をサポート
--	--	--	---	--	--

Be a Great Small.
中小機構
 中小企業基盤整備機構
 東北本部